

「躍動する兵庫」を 県民の皆さんとともに 実現します。

このたび、県民の皆さんからご支援を賜り、兵庫県知事に就任しました。皆さんから寄せられた期待と兵庫の未来を託された責任の重さに、身の引き締まる思いです。

まずは、新型コロナウイルス感染症対策、特に、感染拡大に伴う医療体制の充実確保、希望者へのワクチン接種の早期完了、事業者等へのセーフティネットの強化など、県民の命と生活を守る取り組みに全力を尽くしてまいります。

さらに、人口減少問題、デジタル化への対応など山積する課題に対して、県民の皆さんとの対話を重視しながら、新しい発想と手法で積極果敢に取り組み、「躍動する兵庫」の実現を目指してまいります。これまでに以上に県政に「理解、ご協力」をいただきますようお願いいたします。

兵庫県知事 齋藤元彦

プロフィール

齋藤元彦 (さいとう・もとひこ)
昭和52年11月、神戸市須磨区生まれ。平成14年3月、東京大学経済学部を卒業。同年4月に総務省入省後、新潟県佐渡市、福島県飯館村、宮城県、総務省自治税務局、大阪府を経て、令和3年8月に兵庫県知事に就任。



新型コロナウイルス感染症

コロナ禍の夏 一日も早い収束に向けて

これまでの医療従事者の皆さんのご努力、県民・事業者の皆さんのご協力に感謝を申し上げます。

7月中旬以降、新規陽性者数は再び急増しており、県民・事業者の皆さんには、外出の自粛や飲食店等での営業時間短縮・酒類提供の制限などをお願いしています。

一日も早い収束に向けて、引き続き、ご理解・ご協力をお願いします。

この情報は8月4日現在のものです。
最新の情報に注意してください

外出の自粛

— 特に若年層の人はご協力を —

- ▶ 夏休みシーズンですが、不要不急の外出(特に、帰省や旅行)は控えてください。
- ▶ 時短要請時間外の飲食店等の利用や、感染対策が徹底されていない飲食店等の利用は自粛してください。
- ▶ 会食や友人・家族との自宅での飲み会は控えてください。
- ▶ 路上・公園での飲酒は絶対にやめてください。

ワクチンの接種

- ▶ 正確な情報の下、積極的なワクチン接種をお願いします。

飲食店等の営業時間短縮

- ▶ 8月31日[㊤]まで、飲食店等は営業時間の短縮と酒類提供の制限にご協力をお願いします。

	神戸市、阪神南・北地域、東播磨地域、姫路市	左記以外の市町
営業時間	5時～20時	5時～21時
酒類提供	終日禁止	11時～20時



新温泉町

県立但馬
牧場公園

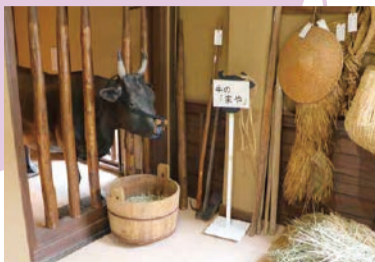
農家と但馬牛の 関わりを伝える体験館が 園内にオープン

美方郡の農家は明治時代から但馬牛の戸籍「牛籍簿」を整備し、徹底した個体管理に努めてきました。これらを含む地域の農業が「兵庫美方地域の但馬牛システム」として日本農業遺産に認定されたことを受け、今年6月に但馬牛の歴史や農家の生活を紹介する「農業遺産体験館」が開館しました。昔の農家住宅を再現した館内には、牛専用の部屋「まや」や実物大の牛の模型、農機具などを展示。電子化した昭和初期の牛籍簿をタブレットで閲覧することもできます。入館は無料です。(同園 三宅由利子さん)

県立但馬牧場公園

〒新温泉町丹土1033 ☎0796(92)2641 ☎0796(92)2640

但馬牧場公園



一つ屋根の下で牛は大切にされてきたことが分かります。



牛籍簿には生年月日や親牛の名前、毛色などが記されています。

ワクチン接種後も 引き続き感染予防を

新型コロナウイルス感染症の発症や重症化の予防にはワクチンの効果が期待されていますが、人への感染をどの程度予防できるかはまだ明らかになっていません。ワクチン接種後も熱中症に注意しながら、マスクの着用や手洗い、人との十分な距離の確保など基本的な感染症対策の徹底をお願いします。(県新型コロナウイルス対策本部)

「ひょうごスタイル」を踏まえた 熱中症予防行動のポイント

- 暑さに気を付ける
 - ・冷房時でも換気扇や窓を開けるなどして換気する
 - ・気温や湿度が高い中でのマスク着用には注意する
 - ・屋外で人との距離が2メートル以上ある場合は適宜マスクを外す
- 小まめに水分補給する
- 日頃から健康管理をする
- 暑さに備えて体力づくりをする
- 周りの人に配慮する
 - ・熱中症になりやすい高齢者や子ども、障害者への目配り、声掛けを心掛ける
 - ・人との十分な距離(少なくとも2メートル)を確保できない場合はマスクを着用する

「ひょうごスタイル」についてはこちら



伝えたい!と
知りたい!をつなぐ

550万人の インフォ

余った食品を 必要な人へ寄付 フードドライブに 協力を

食品ロス削減の一環として、県は「ひょうごフードドライブ運動」を推進しています。家で余った食品をスーパーで回収し、福祉施設や生活困窮者へ無償配布するという取り組みで、現在約140店のスーパーが参加。賞味期限までに食べ切れない食品があれば、最寄りの参加店に提供しましょう。9月28日㊤、29日㊤には県庁でも回収する予定です。(県環境政策課 葉澤恵子さん)

県環境政策課
☎078(362)3156
☎078(362)4024

ひょうごフードドライブ

参加店や
回収日について
はこちら



相生市

食と農を守る
かあちゃんず

地域の伝統の素材 かんぴょうを次世代へ

ユウガオの実。



ビニールハウス内に干したかんぴょう。夏の訪れを告げる景色です。

かつて相生市野瀬地区ではかんぴょうの生産が盛んに行われ、その味は大阪の仲買人が競って買い付けに来るほどでした。しかし、戦後の最盛期には50軒ほどあった生産農家が今では数軒に減少。このままでは伝統の素材が廃れてしまうと、4年前、復活を目指し、かんぴょうの原料となるユウガオの在来種を譲り受け、栽培を始めました。5月に苗を植え、約2カ月後に実を収穫。

すぐに専用機で幅3センチ、厚さ3ミリほどの帯状にむき、2日間天日干しをして、ようやく完成です。生産したかんぴょうは「相生野瀬かんぴょう」と命名し、市の新たなブランド作物としてJA兵庫西の直売所で販売。地域の学校給食の食材にも使われています。軟らかく、甘味がある相生野瀬かんぴょう。ぜひお試しください。

(代表 勝谷公美子さん)

「ユウガオのゼリーも商品化しました」と勝谷さん。



食と農を守る
かあちゃんず
☎080(1485)5291
☎0791(29)0052

かんぴょうの炊き込みご飯

【材料】
米2合、かんぴょう20g、鶏ひき肉50g、水煮大豆50g、ニンジン50g、水480cc、塩小さじ3分の2、しょうゆ大さじ1と3分の1、ごま大さじ2分の1

【作り方】
①かんぴょうは戻さず、食べやすい大きさに切る。
②鶏ひき肉は熱湯をかけ、ほぐしておく。
③ニンジンは細かく切る。
④全ての材料を入れて炊く。





佐用町

グラミンカ
佐用

古民家+グランピング 限界集落が丸ごと宿泊施設に

廃村の危機にあった佐用町若州集落の古民家6棟が改修され、今年1月、集落丸ごと宿泊施設に生まれ変わりました。その名も「グラミンカ佐用」。1棟貸しの古民家にグランピングの要素を取り入れたスタイルが話題を呼んでいます。(取材・文 県民だより編集部)

宿泊棟4棟と交流棟、スタッフが常駐する本部棟に改修し、宿泊棟はいろいろ付きのテーブルやまきストーブを備え、庭にはたき火台も設置。運営者の大野篤史さんは改修に当たり、「各家の歴史を大切にしたい」と話します。例えば、朽ちかけていた庭の木でベンチを作って土間に置いたり、養蚕を営んでいた家には繭の中をイメージした寝室を設けたりと、モダンな中にもユニークでぬくもりのある内装に仕上げました。1棟貸しのため、他の宿泊客と接する機会はありません。自然豊かな山あいの集落で思い切り深呼吸してみませんか。

グラミンカ佐用

〒佐用町若州568-1
●1棟2万8,600円+サービス料
(1人7,700円〜)※2食付き

グラミンカ

予約、
問い合わせは
こちら



繭をモチーフとした寝室。



古色を帯びた柱や梁(はり)と
モダンな内装が調和しています。



古い金を活用した洗面台も。



グラミンカ
佐用の全景。



三田市

県立人と自然の
博物館

丹波で発見！世界最小の恐竜卵

丹波竜の発見地、丹波市山南町の篠山層群で新たに見つかった化石が昨年5月に世界最小の非鳥類型恐竜の卵化石としてギネス世界記録®に認定。特徴などについて、現場責任者を務めた主任研究員の池田忠広さんに聞きました。(取材・文 県民だより編集部)



Q.卵化石の特徴は。

約1億1000万年前の恐竜の卵で、わずか4.5㍉×2㍉の大きさです。新卵属・新卵種と判明し、昨年「ヒメウーリス・ムラカミイ」と命名されました。

Q.どんな恐竜の卵ですか。

卵の特徴から、ティラノサウルスに代表される獣脚類恐竜の仲間と思われます。正確な姿は分かりませんが、卵の大きさから、非常に小型な恐竜であると考えられています。

Q.発見時の状況を教えてください。

始まりは平成27年、地元の上久下地域自治協議会が毎年実施している試掘調査で、無数の卵殻化石が密集した状

態で見つかったことでした。31年に大規模な発掘調査をしたところ、新種2種を含む4種類の卵化石が明らかになりました。複数の種類の恐竜がこの辺りにすみ、同じような場所で卵を産んでいたと推測されます。

Q.世界的にも珍しいのでしょうか。

前期白亜紀においては世界で最も多様性が高い化石層です。しかも、恐竜に限らずトカゲやカエルといったさまざまな動物化石が発見されています。今後新しい発見も時間の問題だと思いますよ。

県立人と自然の博物館 〒三田市弥生が丘6 ☎079(559)2001 📠079(559)2007



3階の「丹波の恐竜化石」コーナーで
実物を展示中。

